

吉川松伏消防組合

第50回全国消防救助技術大会にて2種目で入賞！

大会では、全国各地から予選を通過して選抜された消防救助隊員約1,000人が一堂に会し、吉川消防消防組合からは「引揚救助」、「ロープブリッジ救出」の2種目各1チームが出場しました。

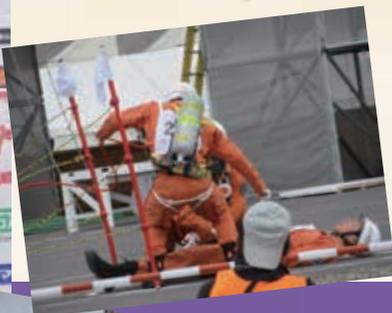
特に、引揚救助チームは参加した全21チーム中、最速タイムを記録！吉川松伏消防組合始めて以来の快挙を達成しました。

引揚救助 入賞

平田隊員 秋元隊員 島村隊員 峰崎隊員 大沼隊員 深井種目責任者



21チーム中 **1** 番のタイム
1分12秒8 (標準タイム2分9秒)



引揚救助競技映像

隊員2人が高さ7メートルの訓練塔からロープを使って降り、要救助者を塔下に運び、塔上にいる隊員2人がロープを引き上げて救助します。

ロープブリッジ救出 入賞

青木隊員 互隊員 岡田種目責任者代理 井出隊員 酒井隊員



28チーム中 **6** 番のタイム
47秒6 (標準タイム1分15秒)



ロープブリッジ救出競技映像

2本の塔の間(23メートル)に張られたロープを隊員2人が渡って要救助者にロープをつけ、もう1人の隊員がロープを引いて救助します。

吉松消防職員に聞いた！ 消防あるある

- ▶サイレン音や消防車の台数から災害を想像できる。
- ▶平日に家にいることが多いから、仕事していないと思われがち。
- ▶長さを測るとき、指や腕など身体の一部で測りがち。
- ▶短髪・筋肉イコール消防と思われがち。
- ▶家に消防車のトミカがありがち。
- ▶Tシャツはやや小さめを着ている人が多い。
- ▶見た目はゴツいのに虫やゴキブリが苦手な人が多い。



高橋彩音の松伏消防署見学

吉川松伏消防組合
松伏消防署にきました。
中はどうなっているのかな？
中隊長で勤務している
今井さんに案内して
もらいました。



AKB48
チーム8
埼玉県代表
高橋彩音



松伏消防署長の
永峯さんにご挨拶。
署内を束ねるリーダー。
とってもカッコいい！



地図装置前は、指令室からの出動指令情報が表示される所。
隊員たちは、瞬時に出動場所を確認し、活動内容を決めて出動していくよ。

救急隊員も消防士！
署内には救急消毒室があり、
使用した救急資器材の消毒も行っているよ。
薬品等がきれいに整頓されているね！



私も防火服を着て、
消防車に乗せて
もらいました！



重たい防火服がたくさん！
迅速に着替えを済ませられる
消防士さんって
やっぱりすごい！

引揚救助訓練を見学。
種目責任者の
深井さんの合図で
スタート！
あまりにも早すぎて
私もびっくり。
特に引揚げる
スピードが圧巻！



まちの守り人は消防士

こんなにもすごい能力と志を持った消防士の皆さんが、私たちのまちを守ってくれています。私たちのヒーローは、今日も心は熱く、頭は冷静に、ときには20キロを超える重さの防火服を身にまとい奮闘しています。まちのどこかで見かけた時やサイレンの音を聞いた時は、感謝の気持ちで応援しましょう。

「歳末特別警戒」を実施します

毎年12月27日19時に松伏町消防団が松伏消防署に集まり、歳末特別警戒の出陣式を行っています。
年末年始の火の取り扱いを注意喚起し、町民の安全安心のため、広報活動を実施しています。
冬場は、空気が乾燥し、火災が起きやすくなっています。楽しく、気持ちよく新年を迎えるためにも、十分に火の元のご確認をお願いします。



高橋彩音さんと松伏消防署の皆さん